



女性おうえん本

『妹たちへ 2』

日経WOMAN 編 日経BP社 281/I48/2 (本館・栄)

迷ったとき、くじけそうになったとき、そして新たな一歩を踏み出すとき、繰り返し読みたくなる本です。今、プロフェッショナルとして輝く女性たちからの、珠玉のメッセージ集です。人生で大切な真実は何かを教えてくれます。

『女に生まれたら、コレを読め』

勝間 和代 著 扶桑社 159/Ka88 (下田)

恋に、仕事にがんばる女性に、幸せをつかむための必勝法を提言します。「婚活」「就活」「財活」など、身の周りのあらゆるジャンルについての著者のアドバイスは、生きていく知恵がたくさんつまっています。

『「婚・産・職」女の決めどき』

牛窪 恵 著 大和書房 36/ウ(自動車文庫)

「まだ大丈夫」「そのうちに」ではタイミングを逃してしまいます。現代は、「婚・産・職」の3つを手に入れられる時代です。そのための計算法を、様々な女性の生きかたを交えて紹介します。

『働く女性のメンタルヘルス』

大槻 久美子 著 かもがわ出版 498/O89 (本館)

働く女性をもっと元気に働いていけるようなアドバイスがたくさん紹介されています。働く女性の現状、ストレス、女性に多いところの病やシンドロームを解説し、自分でできるメンタルヘルス対策や、周囲の人を元気にするメンタルヘルス対策を紹介します。

『なぜフランスでは子どもが増えるのか』

中島 さおり 著 講談社 367/N34 (本館・栄)

フランスにはなぜ専業主婦が少ないのか? 「子どもが増える国」として知られるようになったフランスの事情を、歴史的背景から解き明かします。子どもを持って女性が働き続けられる国フランスから日本が学ぶべきことは何でしょうか。

『坂東式ハッピーライフ両立力』

坂東 真理子 著 幻冬舎 159/B18 (本館)

時間が無い、家事と育児をラクに楽しくやりたい、などの働く女性の悩みに答えます。周囲を味方に変える生き方、ストレスと上手に付き合う方法など、女性が個人としての幸せも大事に育てていく方法がたくさん紹介されています。

『働く母さんお助けバイブル』

ももせ いづみ 著 主婦の友社 366/Mo27 (本館・下田)

子どもにまつわる心配事、仕事を続けていく中で直面する悩みや、日々の暮らしに欠かせない家事の乗り切り方などを、働く母歴15年の著者がアドバイスしてくれます。きっと心が楽になります。働くお母さんを応援する本です。

『女たちの明治維新』

鈴木 由紀子 著 日本放送出版協会 H5/Su96 (本館)

幕末から明治への激動期をたくましく生き抜いた女性たちに光を当て、その足跡に迫ります。逆境から道を拓いた女性達の勇気と情熱を通して、生きるための戦略が見えてきます。

『花嫁はなぜ顔を隠すのか』

増田 美子 編 悠書館 385/H28 (本館)

女性にのみ課された、顔や全身を隠すという社会的規制の始まりや変遷を明らかにし、日本、ヨーロッパにおける女性の位置を浮き彫りにしています。はじらいの象徴としての角隠しやヴェールの下に隠された女の歴史をひも解いていきます。



男女共同参画 ジェンダーの本



『女性を活用する国、しない国』

竹信 三恵子 著 岩波書店 0/イ/791<岩波ブックレット> (本館)

女性の社会進出が進まない日本の現状を、豊富なデータと取材により検証しています。女性の活用を進め、政治・経済の活性化に成功した諸外国の例を紹介し、女性も男性も幸福になれる社会を提唱しています。

『ジェンダーで学ぶ言語学』

中村 桃子 編 世界思想社 801/J36 (本館)

女ことば、男ことばって本当は何だろう？ドラマやマンガの登場人物と私たちの話し方が違うのはなぜ？身近なことばから、ジェンダーの「当たり前」を問い直します。

『ジェンダー白書 6』

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ” 編 明石書店 367/J36/6 (本館)

高度情報化社会、グローバル化、少子高齢社会等の社会的背景が女性の健康に及ぼす影響や、身体のジェンダー化、女性・子どもに対する暴力などのさまざまな観点から「健康」の意味を問い直します。

『ジェンダー白書 7』

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ” 編 明石書店 367/J36/7 (本館)

近年におけるグローバル化の進展に伴う国際結婚の増大を踏まえ、海外レポートが伝えるさまざまな文化的背景を持つ諸外国の結婚・離婚事情を視野に入れつつ、多様化する結婚の未来を考察・展望します。

女性問題関連資料 ブックガイド



《ブックガイド》

2010年度

上半期購入分

三條市立図書館